

令和6年度全国学力・学習状況調査結果について

I. 学力状況調査結果の分析

【国語】

- ・目的や意図に応じて集めた材料を図などにより分類したり関連付けたりして伝えたいことを明確にすることや、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解することができています。
 - ・描写を基に登場人物の相互の関係や心情を捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題が見られます。
- 「読むこと」の学習と日常的な読書活動との関連を意識して指導していきます。

文学的な文章を読む際には、「どんなお話だったか。」という点だけでなく、「どのように読むと、物語のよさに気付くことができるか。」という点を意識して授業を行います。また、登場人物の行動や会話などについて、登場人物相互の関係と結びつけながら想像したり、場面の様子と登場人物の心情の関係に着目させたりしながら、どの描写からそう考えたのか根拠を明確にして発表させることを強化していきます。

【算数】

- ・目的に応じて収集したデータを分類整理し、表やグラフから必要な数値を読み取るなど、短答式な問題に答えることには概ね成果が見られました。
 - ・データを読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述することに課題があります。
 - ・図形についての基礎的・基本的な知識・技能は身についているが、深い理解を伴う知識の習得やその活用には課題があります。
- 日常の具体的な場面に対応させて、活用できる知識・技能を習得させるとともに、式や答えだけでなく、図を用いるなどして、なぜそう考えたのか筋道立てて説明できるように指導していきます。

どの教科においても、協同探究場面を設定し、自分の考えをまとめたり、それらを目的や意図に応じて伝えるようにするための書き表し方を工夫したり、相手の意図を捉えたりする力をつけるために、書く活動や伝える・表現する活動を多く取り入れます。また、そのために、ICT機器を効果的に活用していきます。

II. 学習状況調査（児童質問紙）から

「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。（ゲームをする時間は除きます）」という質問で、「1時間以上」と答えた児童が半数以上、そして「3時間以上」と答えた児童も16%いました。今回の調査において、普段テレビゲームや動画視聴をする時間が1日当たり3時間以上であるグループは、1日当たり3時間未満のグループより勉強時間が短く、毎日同じくらいの時刻に寝ていないという傾向が見られることや正答率が低いという結果が出ています。

学校では講師を招いてインターネットトラブル防止講座も行いましたが、タブレットや携帯電話は使い方を間違えると、学習の妨げになるだけでなく、健康状態や睡眠にも影響が出ることが分かっています。ご家庭でも使い方・使用時間等について話し合っただければと思います。

